

# 平成25年度 伊豆市当初予算案資料



		<ページ>
1	一般会計当初予算について	1
2	当初予算の概要	4
3	一般会計予算の状況	5
4	一般会計予算歳入の状況	7
5	一般会計予算歳出性質別状況	8
6	一般会計予算構成比(グラフ)	9
7	当初予算主要施策	11
8	会計別市債残高見込み	17
9	一般会計当初予算の推移(グラフ)	18
10	平成24年度施策評価会結果に対する具体的改善策及び平成25年度事業への反映状況	19

## 1. 平成 25 年度 伊豆市一般会計当初予算について

平成 25 年度予算は、数年後に迫っている地方交付税の合併による特例措置終了を見据え、実施が不可欠な取り組みを優先的に予算化しました。その他の事業については、休止・先送りを検討し、原則として拡充は行わないなど、事業の選択と集中を行い編成しました。

結果として、前年比増額の予算編成とはなりましたが、無駄をできる限り省いた中身の濃い予算となっています。

### 《一般会計の予算規模》

平成 25 年度の一般会計の予算額は、前年度より 400,000 千円（2.6%）増の 15,623,000 千円となりました。

主な増額要因としては、修善寺駅周辺整備事業の928,104千円（前年度対比328,731千円、54.8%増）については、駅広場工事の本格的な実施段階に入ります。また、継続費である中伊豆中学校体育館建設事業220,720千円（前年度対比79,259千円、56.0%増）や、新規事業として行政消防無線デジタル化事業105,096千円などが挙げられます。

### 《歳入》

#### I 市税 4,414,537 千円（前年度対比 39,342 千円、0.9%）

平成 25 年度の市税収入は、個人市民税において減収が見込まれるものの、法人市民税や固定資産税、たばこ税などにおいて増収が見込まれることから、前年度に比べ 39,342 千円の増（0.9%）となっています。

- 個人市民税は、依然低迷の続く景気の影響により個人所得の増加が見込めないことから、対前年度 50,100 千円減の 1,361,900 千円。
- 法人市民税については、東日本大震災の影響が落ち着き、多少の持ち直しが見込めることから、対前年度 9,100 千円増の 187,750 千円。
- 固定資産税は、平成 24 年度に見込んだ評価替えの影響が少なかったことに伴う増額や新築家屋の増加に伴う増収が見込めることから対前年度 68,792 千円増の 2,453,085 千円。
- たばこ税は、税源配分変更による増収が見込まれるため、対前年度 9,000 千円増の 225,000 千円。
- 目的税である入湯税は、不況のあおりと東日本大震災の影響が続き海岸部への入込み客数に改善は見られないものの、平成 25 年度については増加を見込み対前年度 1,350 千円増の 112,000 千円。

なお、当市では入湯税を次の用途に活用しています。

- ・ 観光振興事業（観光協会補助金）
- ・ 観光施設整備事業（観光施設整備、施設維持管理等）
- ・ 環境衛生施設整備（塵芥処理事業、下水道事業繰出金等）
- ・ 消防施設整備（消防施設維持管理）

## II 地方交付税等（地方交付税＋臨時財政対策債）

5,400,000 千円（前年度対比 200,000 千円の減、△3.6%）

地方交付税は 4,650,000 千円で前年度対比 150,000 千円の減、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債（元利償還金は後年度全額交付税措置）は 750,000 千円で、前年度に比べ 50,000 千円の減、地方交付税等の合計では 200,000 千円の減となります。

## III 市債

### ① 市債発行額 1,786,700 千円（前年度対比 239,500 千円の増、15.5%）

市債発行額は、対前年度比 239,500 千円の増加となっています。これは、3年目を迎え駅北広場工事の着工に入る修善寺駅周辺整備事業のための借り入れ（477,900 千円）や防災移動無線のデジタル化等に伴う防災基盤整備のための借り入れ（96,800 千円）、新し尿処理施設建設に伴う借り入れ（148,700 千円）を予定するためです。

一方、普通交付税の振り替えである臨時財政対策債は、前年度より 50,000 千円減の 750,000 千円となっています。

### ② 市債残高 25 年度末見込額 14,656,791 千円

平成 25 年度における市債発行額 1,786,700 千円から市債元金償還額 1,266,389 千円を差し引くと、平成 25 年度末の一般会計市債残高は、14,656,791 千円となり、平成 24 年度末に比べて 520,311 千円程度増加する見通しです。

## 《歳出》

### I 義務的経費

人件費については、前年に比べ 2,514 千円の微減となりました（△0.1%）。これは、職員給は定員管理等により 29,379 千円減少しましたが、臨時職員等の賃金体系の見直しにより、物件費である賃金から任期付短時間職員給に変更になったことが要因です。

また、ここ数年、地方債の借入れを抑制する予算編成を継続した効果により、公債費も昨年に引き続き減少しています（対前年度比△22,453千円、△1.5%）。

しかし、扶助費が前年度に比べ81,904千円増額（4.8%）となったことから、義務的経費トータルとしては、56,937千円の増加（0.9%）となっています。

なお、歳出全体に占める義務的経費の割合である義務的経費比率は、40.4%で、対前年度当初予算比△0.7ポイントとなっています。

## Ⅱ 投資的経費

投資的経費は、修善寺駅周辺整備事業・新し尿処理場建設工事の合併特例事業と中伊豆中学校体育館立替工事・清掃センター改修工事の継続事業等があり、対前年比514,852千円と大幅に増額（21.1%）となっています。

## Ⅲ その他

① 物件費の賃金については、臨時職員の給与体系の見直しにより任期付職員給に振り替えたことにより、前年度より84,553千円減の66,946千円となりました。その他、需用費△69,713千円や備品購入費△5,285千円と減額となりましたが、委託費が前年度より54,390千円増加したことにより、トータルでは前年度より108,733千円の減（△4.3%）となっています。

② 補助費等は、小中学生の通学費助成の増、定住促進事業補助金の対象の見直しによる増のほか、新たに企業立地事業費補助金を交付することから、37,927千円の増（2.1%）となっています。

③ 繰出金は、国民健康保険特別会計繰出金、下水道事業特別会計繰出金等の減額により、110,493千円の減（△5.4%）となっています。

## 2 当初予算の概要

(単位:千円)

会計名	平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減
一般会計	15,623,000	15,223,000	400,000
公共用地取得事業特別会計	36,850	1,670	35,180
国民健康保険特別会計	4,861,600	4,738,500	123,100
後期高齢者医療特別会計	361,400	385,600	△ 24,200
介護保険特別会計	2,892,800	2,879,850	12,950
簡易水道事業特別会計	256,800	288,200	△ 31,400
下水道事業特別会計	1,281,800	1,924,700	△ 642,900
農業集落排水事業特別会計	127,800	129,000	△ 1,200
計	25,442,050	25,570,520	△ 128,470

上水道事業会計	収益	収入	566,247	※	収益	収入	577,215	※	775,642	64,592
		支出	520,977			支出	516,208			
	資本	収入	214,400	840,234	資本	収入	164,400	68,365		
		支出	548,366			支出	502,901			
温泉事業特別会計	収益	収入	74,879	※	収益	収入	75,131	※	68,365	△ 5,405
		支出	74,059			支出	73,315			
	資本	収入	0	62,960	資本	収入	0	68,365		
		支出	14,000			支出	20,000			
計			903,194				844,007		59,187	

※実質予算額＝収益の支出－減価償却費＋資本の支出

### 財産区特別会計

持越財産区特別会計	1,610	1,100	510
市山財産区特別会計	910	800	110
門野原財産区特別会計	340	250	90
吉奈財産区特別会計	2,560	1,500	1,060
月ヶ瀬財産区特別会計	1,090	800	290
田沢財産区特別会計	180	170	10
矢熊財産区特別会計	360	70	290
湯ヶ島財産区特別会計	28,730	20,500	8,230
計	35,780	25,190	10,590

総予算額	26,381,024	26,439,717	△ 58,693
総予算額(湯ヶ島財産区を除く)	26,352,294	26,419,217	△ 66,923

### 3 一般会計予算の状況

#### (1) 歳入

(単位:千円・%)

年度・区分 款別	平成25年度 予算額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	増減 (C)=(A)-(B)	前年度対比 (C)÷(B)×100
1 市 税	4,414,537	4,375,195	39,342	0.9
2 地 方 譲 与 税	203,000	220,000	△ 17,000	△ 7.7
3 利 子 割 交 付 金	8,500	10,500	△ 2,000	△ 19.0
4 配 当 割 交 付 金	7,000	6,000	1,000	16.7
5 株 式 譲 渡 所 得 割 金 交 付 金	1,700	1,600	100	6.3
6 地 方 消 費 税 交 付 金	330,000	341,000	△ 11,000	△ 3.2
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 金 交 付 金	130,000	135,000	△ 5,000	△ 3.7
8 自 動 車 取 得 税 金 交 付 金	77,000	53,500	23,500	43.9
9 地 方 特 例 交 付 金	10,000	21,500	△ 11,500	△ 53.5
10 地 方 交 付 税	4,650,000	4,800,000	△ 150,000	△ 3.1
11 交 通 安 全 対 策 特 別 金 交 付 金	7,000	7,000	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	217,838	242,816	△ 24,978	△ 10.3
13 使 用 料 及 び 手 数 料	217,835	242,866	△ 25,031	△ 10.3
14 国 庫 支 出 金	1,512,748	1,266,742	246,006	19.4
15 県 支 出 金	902,624	802,974	99,650	12.4
16 財 産 収 入	38,288	63,664	△ 25,376	△ 39.9
17 寄 附 金	102	102	0	0.0
18 繰 入 金	614,609	555,302	59,307	10.7
19 繰 越 金	300,000	300,010	△ 10	—
20 諸 収 入	193,519	230,029	△ 36,510	△ 15.9
21 市 債	1,786,700	1,547,200	239,500	15.5
歳 入 合 計	15,623,000	15,223,000	400,000	2.6

## (2) 歳 出

(単位:千円・%)

款 別	年度・区分	平成25年度	平成24年度	増減	前年度対比
		予 算 額	予 算 額		
		(A)	(B)	(C)=(A)-(B)	(C)÷(B)×100
1	議 会 費	142,891	170,428	△ 27,537	△ 16.2
2	総 務 費	1,728,937	1,762,306	△ 33,369	△ 1.9
3	民 生 費	4,116,171	4,114,758	1,413	0.0
4	衛 生 費	1,557,426	1,666,265	△ 108,839	△ 6.5
5	労 働 費	22,674	23,359	△ 685	△ 2.9
6	農 林 水 産 業 費	564,958	522,104	42,854	8.2
7	商 工 費	782,460	723,765	58,695	8.1
8	土 木 費	2,756,020	2,223,692	532,328	23.9
9	消 防 費	819,382	777,524	41,858	5.4
10	教 育 費	1,625,073	1,708,340	△ 83,267	△ 4.9
11	災 害 復 旧 費	30	30	0	0.0
12	公 債 費	1,455,347	1,477,800	△ 22,453	△ 1.5
13	諸 支 出 金	1,631	2,629	△ 998	△ 38.0
14	予 備 費	50,000	50,000	0	0.0
	歳 出 合 計	15,623,000	15,223,000	400,000	2.6

#### 4 一般会計予算 歳入の状況

(単位:千円・%)

財源別・款		区分	平成25年度 予算額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	構 成 比	
						25年度	24年度
自主財源		市 税	4,414,537	4,375,195	39,342	28.3	28.7
		分担金及び負担金	217,838	242,816	△ 24,978	1.4	1.6
		使用料及び手数料	217,835	242,866	△ 25,031	1.4	1.6
		財 産 収 入	38,288	63,664	△ 25,376	0.2	0.4
		寄 附 金	102	102	0	0.0	0.0
		繰 入 金	614,609	555,302	59,307	4.0	3.6
		繰 越 金	300,000	300,010	△ 10	1.9	2.0
		諸 収 入	193,519	230,029	△ 36,510	1.2	1.5
		小 計	5,996,728	6,009,984	△ 13,256	38.4	39.5
依存財源		地 方 譲 与 税	203,000	220,000	△ 17,000	1.4	1.4
		利子割交付金	8,500	10,500	△ 2,000	0.1	0.1
		配当割交付金	7,000	6,000	1,000	0.0	0.0
		株式譲渡所得割 交 付 金	1,700	1,600	100	0.0	0.0
		地方消費税交付金	330,000	341,000	△ 11,000	2.1	2.2
		ゴルフ場利用税金 交 付 金	130,000	135,000	△ 5,000	0.8	0.9
		自動車取得税交付金	77,000	53,500	23,500	0.5	0.4
		地方特例交付金	10,000	21,500	△ 11,500	0.1	0.1
		地 方 交 付 税	4,650,000	4,800,000	△ 150,000	29.8	31.5
		交通安全対策金 特 別 交 付 金	7,000	7,000	0	0.0	0.0
		国 庫 支 出 金	1,512,748	1,266,742	246,006	9.7	8.3
		県 支 出 金	902,624	802,974	99,650	5.8	5.3
		市 債	1,786,700	1,547,200	239,500	11.4	10.2
	小 計	9,626,272	9,213,016	413,256	61.6	60.5	
合 計			15,623,000	15,223,000	400,000	100.0	100.0



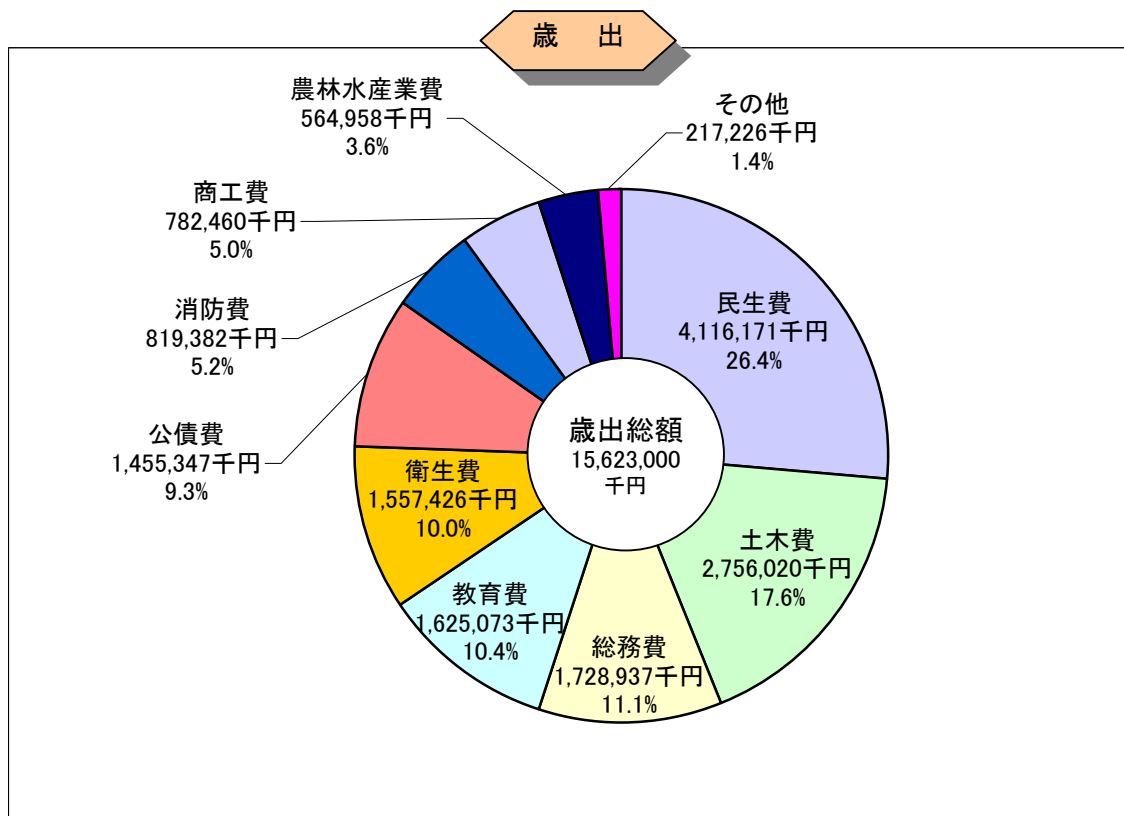
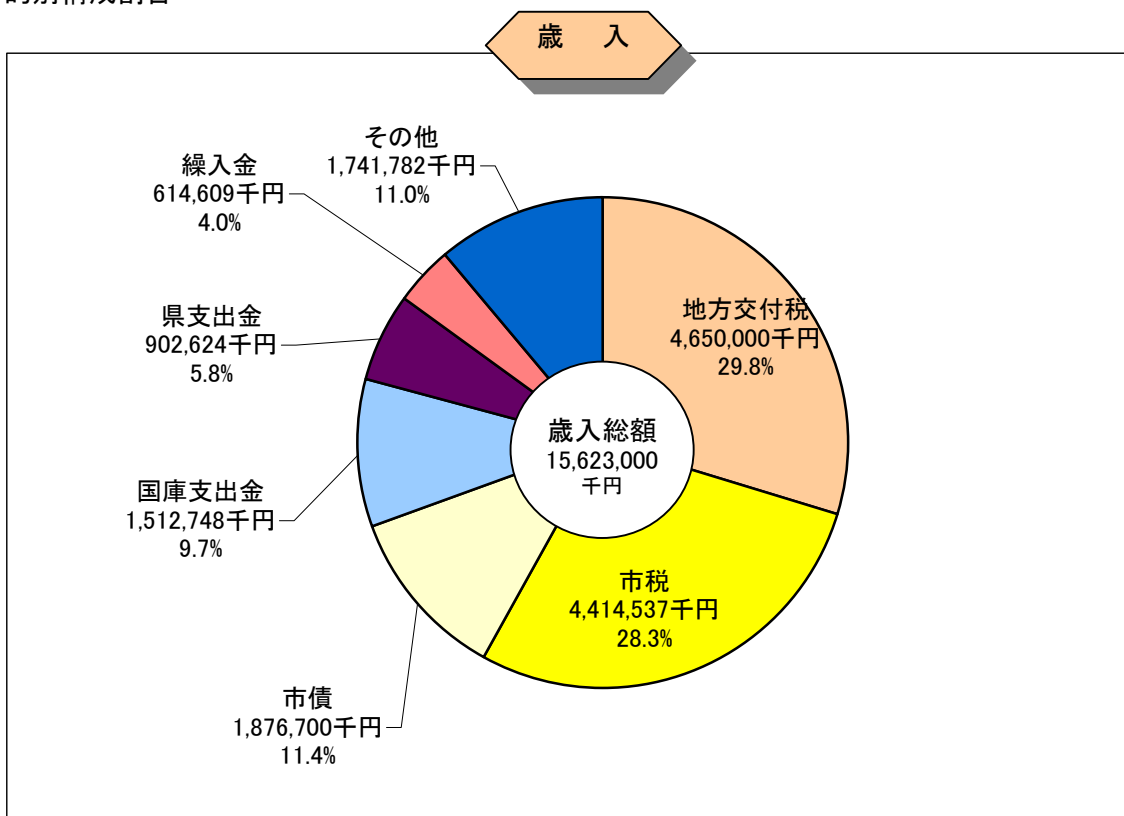
## 5 一般会計予算 歳出性質別状況

(単位:千円・%)

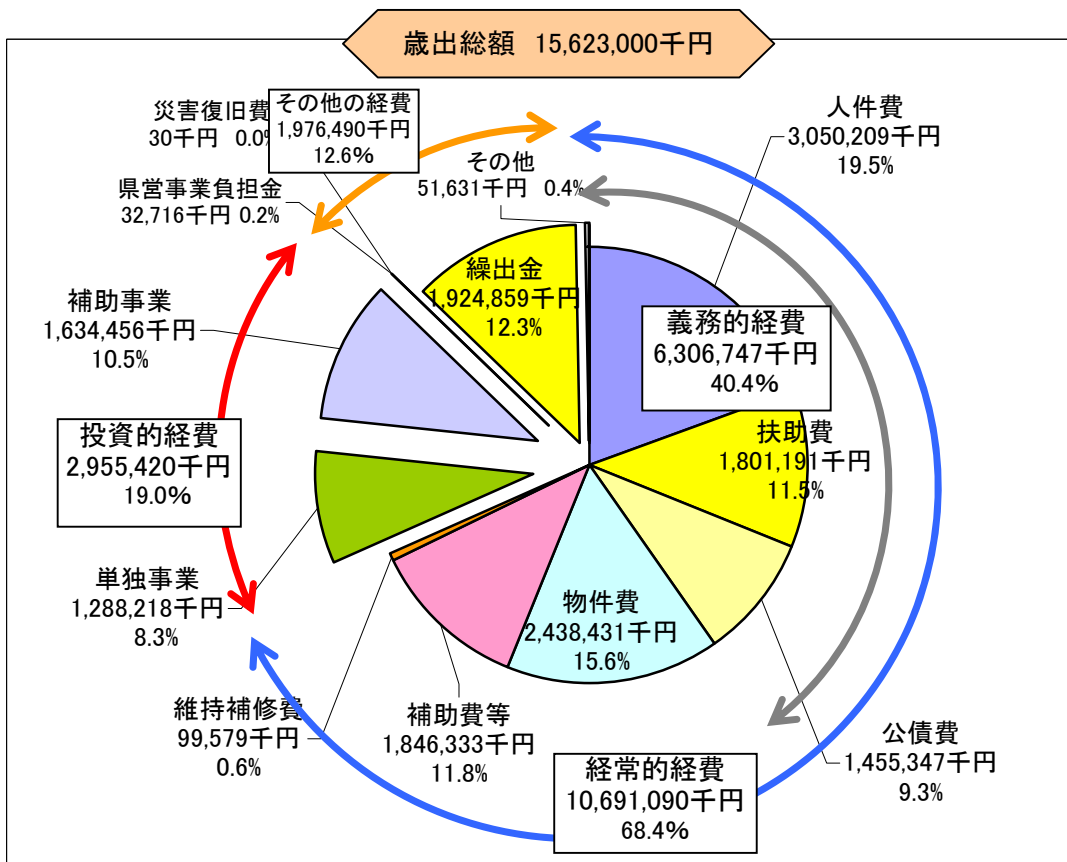
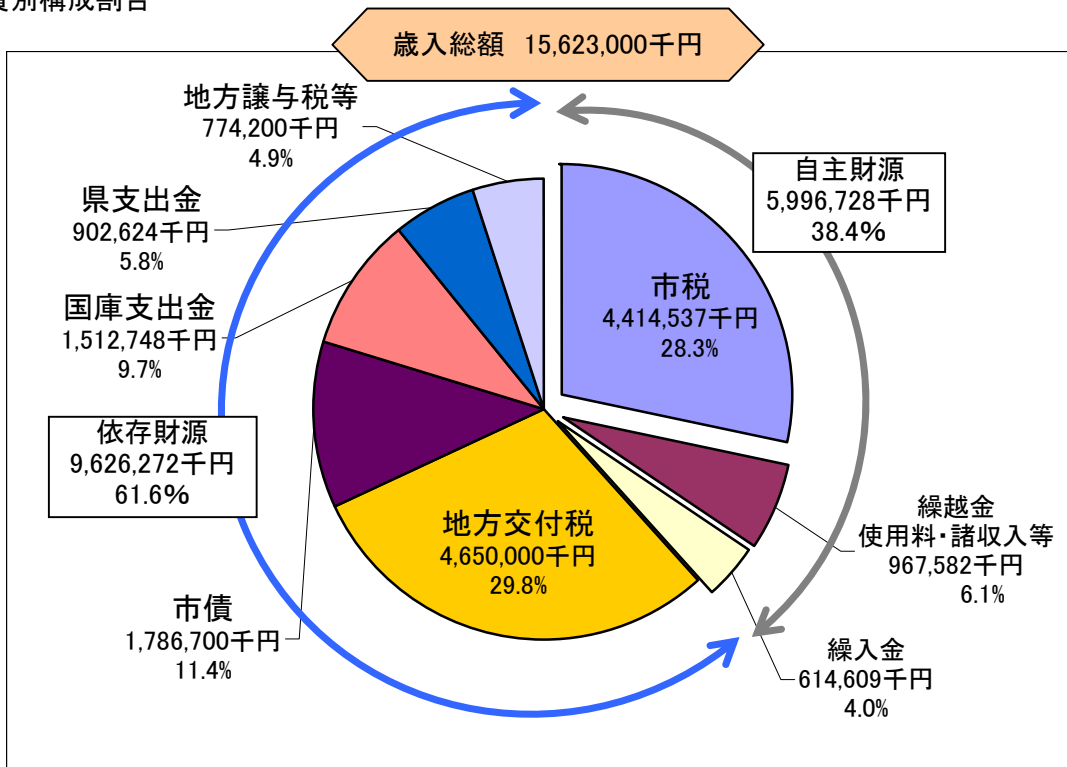
項 目		区 分	平成25年度 予 算 額 (A)	平成24年度 予 算 額 (B)	増減 (A)-(B)	構 成 比	
						25年度	24年度
経常的経費	義務的経費	人 件 費	3,050,209	3,052,723	△ 2,514	19.5	20.1
		扶 助 費	1,801,191	1,719,287	81,904	11.5	11.3
		公 債 費	1,455,347	1,477,800	△ 22,453	9.3	9.7
		小 計	6,306,747	6,249,810	56,937	40.4	41.1
	物 件 費		2,438,431	2,547,164	△ 108,733	15.6	16.7
	維 持 補 修 費		99,579	89,071	10,508	0.6	0.6
	補 助 費 等		1,846,333	1,808,406	37,927	11.8	11.9
	計		10,691,090	10,694,451	△ 3,361	68.4	70.3
投資的経費	普通建設事業	補 助 事 業	1,634,456	1,005,325	629,131	10.4	6.6
		単 独 事 業	1,288,218	1,402,213	△ 113,995	8.2	9.2
		県営事業負担金	32,716	33,000	△ 284	0.2	0.2
		小 計	2,955,390	2,440,538	514,852	18.9	16.0
	災 害 復 旧 費		30	30	0	0.0	0.0
	計		2,955,420	2,440,568	514,852	18.9	16.0
その他経費	積 立 金		1,631	2,629	△ 998	0.0	0.0
	投 資 及 び 出 資 金		0	0	0	0.0	0.0
	貸 付 金		0	0	0	0.0	0.0
	繰 出 金		1,924,859	2,035,352	△ 110,493	12.3	13.4
	計		1,926,490	2,037,981	△ 111,491	12.3	13.4
予 備 費		50,000	50,000	0	0.3	0.3	
合 計		15,623,000	15,223,000	400,000	100.0	100.0	

## 6 一般会計予算構成比

### (1) 目的別構成割合



(2) 性質別構成割合



7 平成25年度 当初予算主要施策  
(第1次総合計画後期基本計画に基づく施策分類)

★…新規事業

(単位:千円)

1 誰もが健康で安心して暮らせるまち		
高齢者や子どもをもつ親、障害のある方など、市内に住む誰もが自立し、健康で安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組みます。		
項目	事業費	備考
① 心も体も健康なまちづくり(健康づくり)		
・伊豆保健医療センターMRI整備費負担金	26,974	MRI設置及びMRI棟増築工事に対して伊豆市・伊豆の国市・函南町から助成(平成23年度から3か年)
・予防接種・ワクチン接種委託料	66,702	乳幼児、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん予防ワクチン、肺炎球菌、ヒブワクチン等
・歯科健診委託料	2,494	妊婦やその夫に対する健診や20歳の成人式において健診を実施
・妊婦健診委託料	13,464	年14回、対象170人(見込)
★・幼児心理相談委託料	994	
・妊婦健診扶助費	380	県外医療機関受診及び予定日超過時健診償還払い
★・電話による健康医療相談サービス	4,830	電話による24時間健康医療サービス
・健診・検診委託料	39,523	一般、各種がん、婦人科、骨密度、前立腺、子宮頸がん、乳がん等
② 地域で支える福祉のまちづくり(地域福祉)		
・社会福祉協議会補助	47,026	老人クラブ連合会、身体障害者福祉会等団体補助、チャイルドシート購入費補助事業等を含む
・住宅手当給付	1,563	離職者に対する住宅手当給付事業
③ 高齢者が安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉)		
・在宅高齢者タクシー等利用助成	19,457	80歳以上の方に対し、タクシー、バス共通利用券を交付(12,000円/1人)
・老人クラブ運営費補助金	3,053	市内老人クラブ(53団体)に対する運営費補助
・老人保護措置費	56,365	
・高齢者実態調査業務委託	1,754	福祉・介護サービス・日常生活全般における満足度・サービス認知・要望等の調査を実施し高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画等に反映する
・老人憩いの家管理委託料	2,526	
④ 障害者が充実して暮らせるまちづくり(障害者福祉)		
・食の自立支援事業委託料	540	心身の障害により、買い物や調理等が困難な障害者に対し、食事を配達することにより在宅生活の継続を支援する。
・田方ゆめワーク送迎委託	3,877	施設利用者送迎委託 沼津市と2市で実施
・駿豆学園管理組合負担金	5,213	9市町による管理組合。施設入所支援と生活介護事業を実施
・重度心身障害者タクシー等利用助成金(市単)	5,148	身障1・2級、療育A・B、精神1・2級の障害者手帳所持者に対し、タクシー等の料金助成を行うことにより、障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図る。(12,000円/1人)

・精神障害者医療扶助(市単)	4,913	精神障害者の入院医療費について高額医療費や付加給付などを控除した額の1/3を補助
・障害福祉サービス	480,000	障害福祉サービス費(介護給付費・訓練等給付費等)の支給
⑤ 子育てしやすいまちづくり(次世代育成)		
・子ども医療費助成事業	68,112	通院・入院:中学校3年生までを対象
・放課後児童クラブ運営事業	27,836	市内6ヶ所で運営
・児童扶養手当給付	96,765	父母が離婚するなどして父、又は母の一方からしか養育を受けられない一人親家庭などの児童のため支給
・児童手当給付事業	439,100	中学3年生までの子どもを持つ親に対し、3歳未満児:15,000円/月、小学校終了前~中学生:10,000円/月を支給
・子育て支援センター委託料	14,800	未就学児までのこどもに対する子育て支援の拠点 修善寺保育園、あゆのさと
・私立保育園運営費補助	62,964	修善寺保育園
・私立こども園運営費補助	125,479	こども園あゆのさと保育園分運営費負担(82,171) 幼稚園分運営費負担(43,308)
・病児病後児保育事業	4,632	満6ヶ月以上乳幼児~小学校3年生までの病児・病後児を平日一時保育として受け入れ
・出産準備手当の支給	6,800	1人につき40,000円支給(妊婦健診の交通費等)
・小中学生の通学費助成	75,443	小中学生の親の負担軽減のため、通学定期代を全額助成 小学生(28,878)、中学生(46,565)
⑥ その他		
・国民健康保険事業費	463,890	国民健康保険特別会計繰出金(463890)
・高齢者医療費	460,793	後期高齢者医療特別会計繰出金(82,143)、県広域連合負担金(378,650)
・介護保険費	447,385	介護保険事業(443,698)、サービス事業(3,687)
・生活保護費	289,792	生活保護扶助費(289,792)
<b>2 魅力と活力を創造するまち</b>		
地域の基幹産業となっている観光や農林水産業の魅力と活力を高めるほか、新産業を育成し、さらに産業間の連携を深め、産業振興に取り組みます。		
項目	事業費	備考
① 癒しをテーマとした観光交流の振興(観光交流産業)		
・グリーンツーリズム推進事業	1,397	都市住民が、伊豆市の自然文化を体験できるメニューの開発や受け入れ態勢の充実を図る
・観光振興事業の推進による産業振興	105,263	観光案内サービス委託(9,152)大学連携観光活性化委託料[大学連携観光振興インターンシップ事業](500)、観光協会補助金(50,476)、伊豆魅力(三カ)プロジェクト補助金(6,080)、サイクルメッカ伊豆推進協議会負担金(14,925)等
・健康づくりの郷事業	2,626	健康づくり実践プログラムによる人材育成事業、健康づくり旅行商品の企画・実施
★・ジオパーク推進事業	34,783	ジオガイド養成やジオサイトの保全及び環境整備、ジオツアーや関連商品の開発等

② 特産品づくりと地産地消の振興(農林水産業)		
・収穫祭事業	3,792	地産地消を目的とし、地場産品・郷土料理・農機具などの販売・展示のイベントを開催(委託から直接実施へ)
・食肉加工センター管理運営事業	31,254	作業員賃金、加工用原材料費等
③ 地域に根ざした商工業の振興(商工業)		
・商工会補助金	10,270	伊豆市商工会運営費補助金
・地域経済対策(商工支援)	9,500	得トク商品券15,000セット発行 商品券プレミアム10%と事務経費を助成
・ " (中小企業事業支援)	5,790	短期経営改善資金利子補給(570)、小口資金利子補給(3,000)、信用保証協会負担金(2,220)
・住宅リフォーム事業補助金	6,500	市内施工業者が行うリフォーム工事に対し補助(上限10万円)
★・企業立地事業費補助金	18,450	市内立地企業に対し補助(県費補助事業)
④ その他		
★・瀧下橋駐車場公衆トイレ整備事業	26,461	瀧下橋駐車場公衆トイレ整備
・有害鳥獣捕獲事業	24,860	有害鳥獣捕獲報償(7,575)、有害鳥獣等被害防止対策事業補助金(7,200)、鳥獣被害防止対策協議会補助金(3,000)
・シルバー人材センター運営費補助	17,500	高齢者に働く場所の提供、地域社会の活性化に貢献
<b>3 美しい環境に囲まれたまち</b>		
市民や来訪者にとって重要な資源となっている地域環境を、安全で美しい環境として維持・充実していくまちづくりに取り組みます。		
項目	事業費	備考
① 適切に維持管理された緑の環境づくり(自然環境)		
・松くい虫等防除事業	9,694	松くい虫予防剤地上散布等
・森林整備事業補助金	5,900	鳥獣害防止施設、人工造林、利用間伐等
・市有林整備委託料	53,680	森林整備加速化・林業再生事業(国庫補助)として市有林の間伐を実施。また、森林環境保全直接支援事業(国庫補助)としてクヌギ・ナラ等の維持管理を実施する。
・花いっぱい事業	3,695	花づくりの奨励、公共花壇の管理活動
② 美しく負荷の少ない環境づくり(環境衛生・新エネルギー)		
・環境美化事業	19,034	不法投棄物の回収・処理に臨時職員を雇用(9,125)、投棄ゴミ収集撤去業務委託料(2,908)
・住宅用太陽光発電システム設置費補助金	6,500	1基につき上限10万円補助(対前年度5件増)
★・環境基本計画作成業務委託料	4,515	環境基本計画を見直す
・焼却施設改良工事	255,137	焼却施設大規模改修工事(24~25継続事業)

③ 安全で清潔な水の流れる環境づくり(上水道・下水道)		
・合併処理浄化槽設置費補助金	19,010	新たに合併処理浄化槽を設置又は既存の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に切替え設置する者に対し補助
・新し尿処理施設建設事業	196,245	老朽化した柏久保及び土肥衛生プラントを統合し新し尿処理施設を建設(26年度までの合併特例事業)
・上水道事業会計繰出金	4,400	上水道事業会計繰出金
・簡易水道事業特別会計繰出金	57,216	簡易水道事業特別会計繰出金
・農業集落排水事業特別会計繰出金	94,727	農業集落排水事業特別会計繰出金
・下水道特別会計繰出金	779,396	下水道特別会計繰出金
④ 美しい住環境づくり(宅地環境・景観)		
・市営住宅改修・維持補修工事	34,750	土肥団地及び椿団地外壁塗装工事、土肥・西平・立野団地維持補修工事等
<b>4 豊かな心を育むまち</b>		
地域を担う市民一人ひとりが、思いやりと想像力にあふれた豊かな人材となるようなまちづくりに取り組みます。		
項目	事業費	備考
① 地域の明日を担う人材育成のまちづくり(人づくり)		
・人づくり塾運営事業	500	大学連携等
・若者交流施設運営事業	3,125	若者交流施設「gizu」運営
・子ども会育成連合会補助金	1,150	
② 誰もが学びやすいまちづくり(生涯学習)		
・生涯学習推進地区補助金	1,560	78地区
・市文化協会補助金	738	
③ 豊かな人間性を育む教育のまちづくり(学校教育)		
・児童生徒用PC借上料	25,864	小学校児童・教師用(20,909)、中学校生徒・教師用(4,955)
・学校再編事業	18,100	天城小校舎外壁塗装等工事(17,600)ほか
・中伊豆中学校体育館建設工事	220,720	老朽化に伴う建替え工事(24年度からの継続事業)
④ 歴史・文化を継承するまちづくり(歴史・文化)		
・にぎわいづくり事業補助金	1,500	地域文化を活用した魅力ある地域づくりを図ることを目的とした賑わい創出事業に対する補助
⑤ 誰もが楽しめるスポーツのまちづくり(スポーツ・レクリエーション)		
★・修善寺グラウンド改良工事測量設計業務	6,698	グラウンド改修(26年度予定)のための設計
★・中伊豆室内プール備品購入	6,699	トレーニングルームにトレッドミル2機購入

⑥ 身近な国際交流のまちづくり(国際交流)		
・市交流協会補助金	2,984	海外姉妹都市及び国内姉妹都市との交流促進
<b>5 安全・快適に暮らせるまち</b>		
市民生活の基礎となる交通機能の整備、暮らしに役立つ情報ネットワークの整備を進めます。 また、災害や犯罪の被害が少ない街づくりに取り組みます。		
項目	事業費	備考
① 便利で快適な交通基盤づくり(道路・公共交通)		
・バス路線維持事業補助金	52,520	過疎バス、赤字路線に対する補填補助
・高齢者割引乗車証購入助成事業	6,000	70～82歳までの高齢者に対する購入助成
★・環駿河湾観光交流活性化事業負担金	4,000	海の県道223号線誕生に併せ、フェリー料金(旅客・車)を割引
・市道大平柿木本柿木線改良工事	129,000	橋梁上部工、道路改良(辺地債事業)
・市道横瀬大平線改良工事	83,700	橋梁上部工、橋台(左岸) 【社会資本整備総合交付金事業】
★・市道久保廣瀬線改良工事	18,000	修善寺地区温泉場道路改良
★・市道萩原原線改良工事	40,000	大平地区道路改良
・道路用地購入費	81,015	市道改良(59,577)、天城北道路関連用地(21,438)
② 暮らしに役立つ情報ネットワークづくり(高度情報社会)		
・無線システム普及支援事業等補助金	20,000	共聴施設のデジタル化改修工事に対する補助
③ 利便性の高い市街地づくり(市街地)		
・都市計画マスタープラン策定業務委託	12,770	伊豆市都市計画マスタープラン策定
★・中心市街地整備構想策定業務委託料	5,000	修善寺駅周辺環境整備完了後の市街地整備構想策定
・修善寺駅周辺環境整備	928,104	駅北広場、駅南広場工事、新町線改良工事、鉄道施設移転補償等
④ 災害に強いまちづくり(防災)		
★・津波避難塔設置工事測量調査設計業務委託料	5,500	土肥地区の津波避難対策として候補地の「ホーリング」調査等を実施
・治山事業	20,509	県単土肥天金蛇石工事、県単熊坂柿生戸工事等
・急傾斜地区測量設計委託料	40,600	大平柿木、市山、横瀬、原、小立野、行田山地区
・急傾斜地崩壊対策事業(工事費)	25,000	牧之郷アラク急傾斜地崩壊対策工事(県費補助事業)
・急傾斜地崩壊対策事業(県営工事負担金)	14,100	上船原、下船原、牧之郷、青羽根、熊坂、湯ヶ島、八木沢地区に対する県施行工事負担金

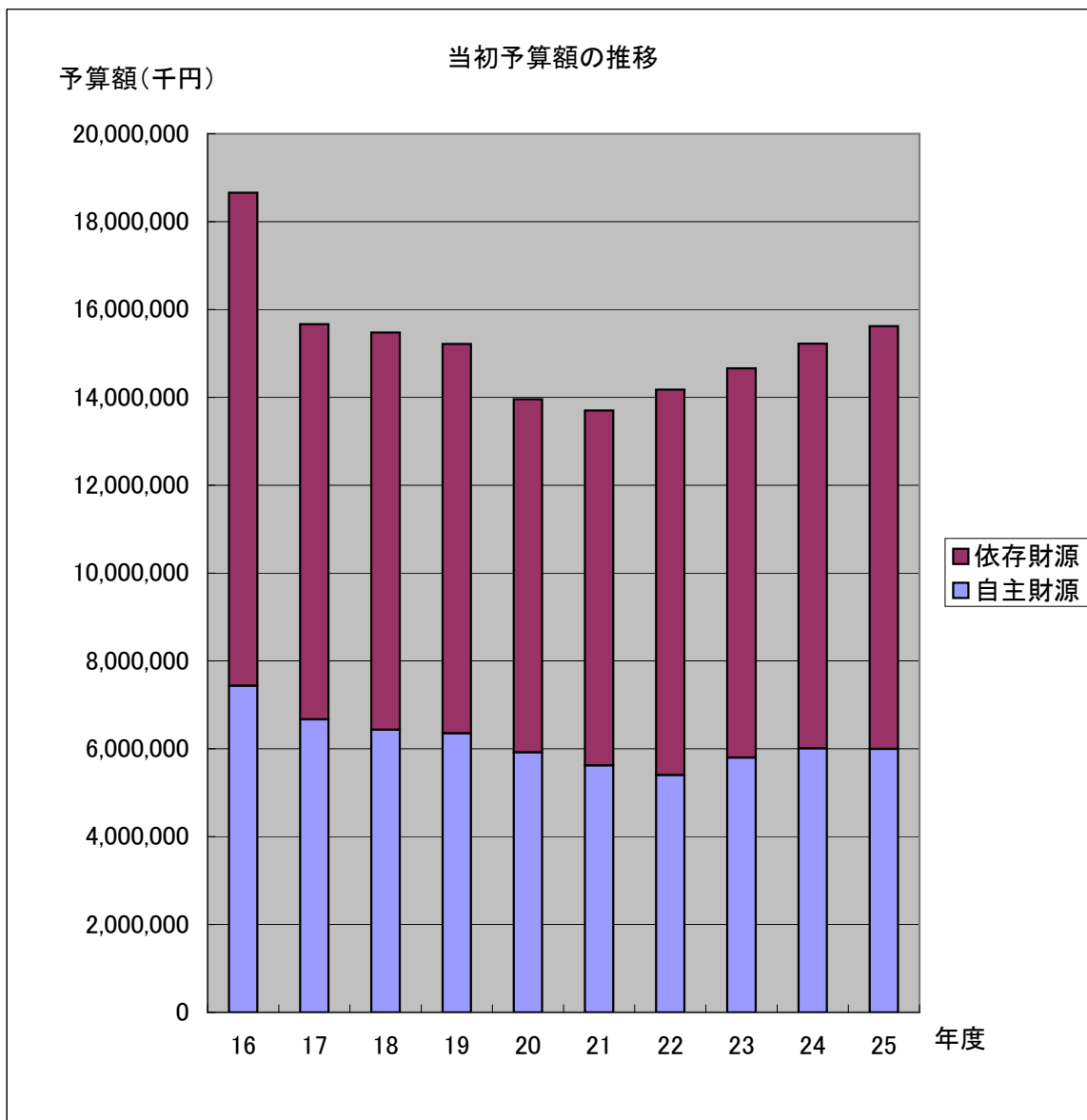


⑤ 安全に暮らせるまちづくり(消防救急・交通安全・防犯・消費生活)		
・田方地区消防組合負担金	544,967	田方地区消防組合負担金
★ 行政消防無線デジタル化	105,096	デジタル移動無線工事(23,953)、デジタル移動無線備品購入費(27,787)、防災行政無線共同整備負担金(47,356)
★ ・田方地区防災・危機管理対策事業負担金	3,228	伊豆の国市、函南町と共同で防災危機管理専門員を採用する。伊豆市の負担金分
・交通安全施設整備	1,875	カーブミラー等安全施設整備
・防犯灯設置整備	875	防犯灯35基を設置
⑥ その他		
・定住促進事業補助金	29,400	夫婦いずれかが満40歳以下の若者世帯で、新たに住宅を取得した者に上限100万円を補助(25年度より要綱改正)
<b>6 地域が主体となるまち</b>		
まちづくりを進めるために、さまざまな機会を通じて、市民が主体となるまちづくりを展開します。また、これまで以上に自主性を高め、効果的な行財政運営を進めていきます。		
項目	事業費	備考
① 市民主体のまちづくり(市民参加・コミュニティ)		
・ふるさとづくり補助金	1,200	地域の活性化、コミュニティ育成
・地区運営交付金	7,680	行政連絡組織に対し、地域活動補助として交付 25年度より環境美化費を含めて交付
★ ・ラジオ広報事業(コミュニティFM)	7,000	25年4月開局のコミュニティFMの番組料 行政情報・防災情報発信

## 8 会計別 市債残高見込み

(単位：千円)					
会計別	23年度末	24年度末	25年度中増減見込		25年度末
	現在高	現在高 見込額	起債見込額	元金償還 見込額	現在高 見込額
一般会計	13,693,044	14,136,480	1,786,700	1,270,000	14,653,180
下水道事業	6,642,584	6,391,643	104,950	435,369	6,061,224
農業集落排水事業	593,204	548,348		48,113	500,235
簡易水道事業	120,557	287,819	134,000	5,256	416,563
上水道	1,920,410	1,968,943	200,000	104,806	2,064,137
合計	22,969,799	23,333,233	2,225,650	1,863,544	23,695,339

## 9 一般会計当初予算の推移



年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
自主財源	7,435,760	6,669,050	6,436,038	6,353,274	5,921,114	5,623,595	5,404,576	5,799,968	6,009,984	5,996,728
依存財源	11,224,240	8,996,950	9,040,962	8,863,726	8,034,886	8,076,405	8,771,424	8,862,032	9,213,016	9,626,272
計	18,660,000	15,666,000	15,477,000	15,217,000	13,956,000	13,700,000	14,176,000	14,662,000	15,223,000	15,623,000

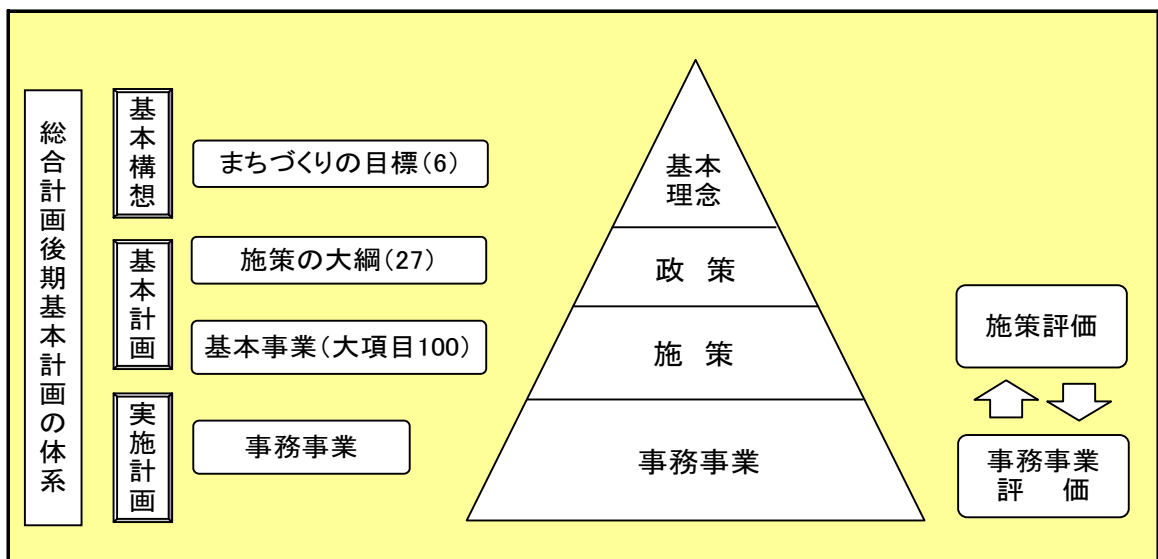
## 10 平成24年度 施策評価会の実施結果について

総務課行政スタッフ

平成22年度から23年度にかけては「市民による事業評価会」により、事務事業の評価を行ってきましたが、今年度は、第1次伊豆市総合計画後期基本計画の基本事業にあたる施策単位での評価を実施しました。

具体的には、施策を構成する事務事業を個々に評価するのではなく、施策の目標達成のための貢献度や優先度等を総合的に評価することにより、今後の政策や施策がまちづくりの目標に沿って進められているかについて見直すことを目的としました。

第1次伊豆市総合計画後期基本計画では、6つの基本方針による「まちづくりの目標」（大分類）と、その下に27の政策（中分類）が定められています。この政策の下には、それぞれの施策が基本事業（小分類）として示されており、この施策の目標達成のために各事務事業（実施計画）が存在します。



今年度は試行的に4つの施策を抽出して施策評価を実施しました。施策評価での見直しの内容は、別紙のとおりです。

### 【参考】

(単位:千円)

施策名	24年度事業費	25年度事業費	増減額
1 生きがい対策の充実	73,005	60,182	▲ 12,823
2 農林水産物特産品の振興	16,407	16,200	▲ 207
3 環境意識の向上・環境美化の推進	10,171	8,303	▲ 1,868
4 体育施設・設備の整備と有効活用	94,820	103,201	8,381
合計	194,403	187,886	▲ 6,517

平成24年度 施策評価に伴う取組みの状況

施策名	生きがい対策の充実	1
施策の目的	高齢者の生きがいと社会参加を促進し、孤独感の解消、心身機能の低下や認知症の予防を図るとともに、各地域の民生児童委員、自治会、ボランティア等と高齢者とが協力しあえる体制をつくりながら、高齢者福祉の推進を図る。	
成果指標	◎ 老人クラブ登録者数と老人クラブ登録クラブ数 ・H27までに老人クラブ加入者数を4,000人(H23実績:3,086人)  ※老人クラブ活動等延べ参加者数、生涯学習事業延べ参加者数	
施策評価会での主な意見等	・生きがい対策と生涯学習とのすみわけや連携の検討が必要。 ・高齢化が進む中、対象年齢についても検討が必要。 ・敬老会は様々な方向性を検討する中で改善すべき。 ・敬老福祉金は、一律支給を見直し特定年齢への支給等の検討が必要。 ・シルバー人材センター補助金は、経営努力を促し削減していく。	
施策評価による見直しの内容	○生涯学習事業との連携 *生涯学習事業との連携を図り、高齢者の生きがい対策につながる事業の創造等について協議を進める。  ○敬老会開催方法の見直し *より参加しやすい敬老会とするために、会場や内容を見直し。  ●敬老福祉金の廃止 *敬老福祉金を廃止し、高齢者の生活に密着した事業(高齢者バス補助等)を充実する。  ●シルバー人材センター補助金の削減(▲1,445千円) *事務局の運営体制の見直し等により補助金を削減。 *事務費等について事務局と調整検討を行い適正化を図る。	

施策名	農林水産物特産品の振興	2
施策の目的	伊豆市の既存特産品であるワサビやシイタケ等の生産出荷量の増を図りつつ、安定した品質の確保によるブランド化の推進を図ると共に、その他本市ならではの農林水産物を活用した特産品の開発とブランド化を進める。 また、特産品については、地域外への出荷と同時に地産地消を推進することで地域活性化を図る。	
成果指標	◎ 新特産品開発数 ・平成27年度までに2個	
施策評価会での主な意見等	・地産地消については、流通システムまで切り込んで市がどこまで取り組むべきかを再検討する。 ・下船原加工場は利用状況を考慮し今後の方針を再検討する。 ・土肥花木園は管理形態の見直しを含め可能性を模索する。 ・健康志向にマッチする天草の活用を検討。	
施策評価による見直しの内容	○特別栽培米「清流コシヒカリ」の流通システムの整理とブランド確立を支援 *地元の観光業者を中心に地産地消を推進し、ブランドイメージを定着する *栽培管理や営農指導、という支援に加え、栽培を促進するための補助制度を導入  ○新たな特産品の開発又は特産品を活用した商品開発や市場開拓に取り組む団体等を支援 *既存の特産品を活かした商品開発などに取り組む団体に対する補助金  ●地域資源を活用した商品開発等を目標に3ヵ年実施した四万十ドラマノウハウ移転事業の終了 *茅野地区において、高知県四万十地域の活動を学び、地域資源を活用した商品開発を研究し、試行錯誤を続けている。補助金終了後も立ち上げた地域協議会を継続し活動を続ける予定。	

施 策 名	環境意識の向上・環境美化の推進	3
施 策 の 目 的	市民にとって重要な資源となっている地域環境を、安全で美しい環境として維持・充実していく。	
成 果 指 標	◎ 住民1人1日当排出量 (g) ・H27年度までに898gに減量 (H23実績:930g)	
施策評価会での 主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ減量化や環境意識の向上について、市としての取り組みは十分であるのか再検討が必要。</li> <li>・レジ袋の有料化については、市としての姿勢が不明確である。</li> <li>・環境教育については、体系や市として目指すものを整理した上で各学校との連携を検討。</li> <li>・ゴミ収集や焼却施設の運営については、市民ニーズの把握も必要。</li> </ul>	
施策評価による 見直しの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境意識調査(市民アンケート)の実施 *市民アンケートを実施して、市民の環境意識を把握し、計画に反映するとともに、その内容を基に市民の環境意識高揚の方法を模索する。</li> <li>○マイバック運動の推進 *市民にマイバック(エコバック)の活用を促すためのPRを行う。</li> <li>○環境美化運動の推進 *自治会単位の環境美化運動を積極的に推進する。</li> <li>○環境教育の進め方について教育委員会と協議 *伊豆市の現状や施策の目指す方向性を踏まえ、環境教育の進め方について教育委員会と協議し、小中学生を中心に環境意識の向上を図っていく。</li> <li>●地区集合消毒薬剤支給事業の廃止 *環境負荷の軽減と誤飲事故等の薬剤管理上の問題を考慮し、薬剤支給事業を廃止する。</li> </ul>	

施 策 名	体育施設・設備の整備と有効活用	4
施 策 の 目 的	市民が健康維持・増進や余暇利用のために体育施設を安全で快適に利用できるように環境を整備して提供するとともに、施設の利用促進を図り有効活用することを目的とする。	
成 果 指 標	◎ スポーツ施設の年間延利用者数 ・H27年度までに、年間延べ利用者数を23万5千人とする。(H23年度実績:21万7千人)	
施策評価会での 主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を考慮しながら、予約システムの活用方法を検討。</li> <li>・社会教育施設の統廃合や学校跡地等の活用について将来の方向性を総合的に検討。</li> <li>・市の規模、財政力を勘案して施設数を検討する必要がある。</li> <li>・天城温泉プールは、今後廃止を含めて検討していく。</li> <li>・魅力プロジェクトとの連携は議論を重ね、より良い方向性を見出していく。</li> </ul>	
施策評価による 見直しの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ施設の予約受付業務の一元化の推進 * 利用者の利便性を高めるため、現在受け先が異なる施設を含め、予約受付業務の一元化を図るため、システムの構築を進める。 * 学校体育館についても、予約や利用方法の改善など有効利用のための検討を行う。</li> <li>○伊豆市スポーツ施設再編計画の策定 * 人口規模、施設の利用率、財政規模に見合った社会体育施設の適正配置を検討する。</li> <li>【連携】</li> <li>○魅力(三カ)プロジェクトとの連携により施設の有効利用を推進 *魅力プロジェクトによるワンストップサービスの提供により観光交流人口を増加させ、スポーツ施設を地域経済活性化の基点としていく。</li> </ul>	